

**夏休み、みんなくの観覧料が無料になります！**  
 期間 8月26日(日)まで  
 無料観覧についてはホームページ、電話  
 でぜひご確認ください。

**特別展**

**「世界の織機と織物」**  
 織って！みて！織りのカラクリ大発見！  
 ヨーロッパで紀元前から使われてきた錘を  
 使った織機、カナダの少数民族「ネのヤマアラ  
 シ」のトゲを織り込んだ織物をはじめとして世  
 界各地の多種多様な織機と織物を紹介します。  
 会場の2カ所では、さまざまな織りのカラクリ  
 も体験できます。  
 会期 9月13日(木)～11月27日(火)  
 会場 特別展示館および  
 本館1階エントランスホール

■関連イベント  
 ◆連続講座「博物館にさわる」  
 ▼8月11日(土)  
 「タッチカービングによる物指し鳥」  
 講師 内山春雄(野鳥彫刻家)  
 ▼8月25日(土)「ヒトのカタチ」  
 講師 柴田良貴(筑波大学芸術系教授、彫刻家)  
 各日13時30分～16時(開場13時)  
 場所 第5セミナー室(先着100名)  
 ※参加無料、申込不要  
 ◆展示場クイズ「みんなQ」探究ひろは編  
 期間 8月2日(木)～8月25日(土)  
 場所 探究ひろは

企画展関連写真展  
 「写真で見る東日本大震災と被災文化遺産  
 のレスキュー」  
 会期 8月21日(火)まで  
 会場 企画展示場  
 みんなく映画会 日印国交樹立60周年記念  
 「インド・クラシック映画特集」  
 ▼8月4日(土)「ジャンカラパラナム」  
 1979年、K・ヴィシユワナート監督、  
 テルグ語、145分  
 解説：寺田吉孝(国立民族学博物館教授)  
 ▼8月5日(日)「第一の敬意」  
 1985年、パラーティフリージャー監督、  
 タミル語、180分  
 解説：杉本良男(国立民族学博物館教授)  
 場所 講堂(先着450名)  
 ※参加無料、申込不要

研究公演  
 「神への祈りと喜びの舞曲  
 —バツハからバルトークへ—」  
 世界で活躍しているチェリスト、ヴァイオリ  
 ニスト、ピアノリストのトリオを招き、バツハ  
 における舞踏的要素に注目しながらクラシッ  
 ク音楽と民衆文化との関わりを紹介します。  
 日時 9月2日(土) 13時30分～15時30分  
 (開場13時)  
 場所 講堂(定員450名)

※参加無料、要申込  
 申込締切 8月21日(火) 必着  
 博導連携教員研修ワークショップ2012 in みんなく  
 「学校と博物館をつくる国際理解教育  
 —新しい学びをデザインする—」  
 日時 8月7日(火) 10時20分～17時  
 (受付10時より)  
 場所 ナビひろはほか  
 対象 小学3～6年生(保護者同伴であれ  
 ば小学1、2年生児童も参加可能)  
 ※参加無料、要申込  
 みんなく秋の遠足・校外学習 事前見学&ガイド  
 秋の遠足・校外学習にむけて事前見学に来館  
 される学校団体の先生方を対象としたガイ  
 ダンスを開催します。新しくなった展示につ  
 いても研究者が展示場で説明します。  
 実施日 8月28日(火)、30日(木)、31日(金)  
 時間 14時～17時  
 場所 第5セミナー室ほか

夏休み子どもワークショップ  
 夏の自由研究はこれで解決！「働く」って何？  
 アフリカの人々の生活をみてみよう！  
 日時 8月21日(火) 10時30分～16時  
 (受付10時より)  
 場所 ナビひろはほか  
 対象 小学3～6年生(保護者同伴であれ  
 ば小学1、2年生児童も参加可能)  
 ※参加無料、要申込

「第3回現代インド・南アジアセミナー」  
 現代インド・南アジアの歴史学、経済学、生  
 態人類学、文化人類学、ジェンダー研究  
 ツーリズム研究をそれぞれ牽引する8名の  
 講師による連続講義です。  
 実施日 9月22日(土)、23日(日)、24日(月)  
 時間 13時30分～18時30分(予定)  
 会場 第5セミナー室  
 定員 70名  
 ※参加無料・要申込(9月9日応募締切・先着順)

みんなくはミナール

会場 国立民族学博物館 講堂  
 時間 13時30分～15時(13時開場)  
 定員 450名(当日先着順)  
 第411回 8月18日(土)  
 【探究ひろは関連】  
 ソーシャルメディアに見る人とモノの関係  
 講師 濱崎雅弘(産業技術総合研究所研究員)  
 聞き手 中村嘉志(国立民族学博物館客員教員)  
 参加費 無料(この期間展示を無料でご覧いただけます)

今回はこれまでとは少し毛色の異なる話題をお届けし  
 ます。人と人の関係を、コンピュータネットワーク上  
 でのデジタル作品作りの視点から考えてみます。デジ  
 タル作品と聞くとも無味乾燥なイメージを抱く方も多  
 いと思います。しかしそこにはモノと人、人と人との関  
 係に依拠したモノづくりが存在します。意外に泥臭い  
 ものです。これらを近年流行のソーシャルメディアと  
 絡めてお話しします。

第412回 9月15日(土)  
 【特別展「世界の織機と織物」関連】  
 手仕事への回帰  
 講師 吉本忍(国立民族学博物館教授)  
 参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要で  
 す)



人類史の中枢技術  
 として位置づけら  
 れる織りの技術は、  
 産業革命以降に人  
 類が手仕事を放棄  
 し続けてきたこと  
 と深くかかわって  
 います。その歴史  
 的経緯と現代社会  
 が直面する危機的  
 状況、そして、全  
 人類の手仕事への  
 回帰の必要性につ  
 いてお話しします。

友の会

国立民族学博物館友の会 電話06-6877-8893(平日9時～17時) FAX06-6878-3716  
 http://www.senri-f.or.jp/ e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室  
 定員 96名(当日先着順、会員登録必須)  
 第411回 9月1日(土) 14時～15時  
 聖書を生きたる人びと  
 南部アフリカにおけるキリスト教独立教会の現在  
 講師 吉田憲司(国立民族学博物館教授)  
 南アフリカやジンバブエ、ザンビアなど南部アフリカは、  
 現在、地球上でキリスト教が最も急速にひろがっている地  
 域です。治療儀礼など伝統的な信仰とのせめぎ合いの中  
 で、聖書の世界を忠実に生きようとしている人びとの姿  
 を追います。  
 第412回 10月6日(土) 14時～15時  
 【特別展開連】  
 世界の織機と異形の織物  
 講師 吉本忍(国立民族学博物館教授)  
 世界各地では、さまざまな織機を使って、さまざまな織  
 物が織られてきました。今回は、それらのうちから、輪  
 状、楕円状、管状、丸紐状、ひだ状、交叉状、フオーク  
 状、うろこ状、袋状などの異形の織物と、それらを織る  
 織機を紹介します。

東京講演会・食生活会  
 第103回 9月22日(土) 15時半～17時  
 アフリカを食べる  
 講師 竹沢尚一郎(国立民族学博物館教授)  
 西アフリカのニジェール河流域に暮らすボソのひととは、  
 米を主食とし、副食に魚を食べるという日本と似通った  
 食生活をしています。昔ながらのやり方で魚を追って暮  
 らす彼らの生活を、映像を用いながら紹介します。  
 講演会終了後にはマリやセネガルなど西アフリカ地域の  
 家庭料理をじっさいに味わう食生活会もおこないます。(食  
 生活会は17時半～19時)  
 参加費 講演会のみ3000円(会員外5000円) ※飲物付  
 食生活会3500円(会員外4000円)  
 ※講演会参加費含む。食生活会の内容など詳細は、  
 「友の会」まで。

会場 レストラ「カラバッシュ」  
 (JR浜松町駅から徒歩すぐ)  
 定員 40名(要申込)

※イベントや刊行物について、くわしくはホーム  
 ページをご覧ください。広関係にお問い合わせ  
 ください。  
 ※電話でのお問い合わせの受付時間は9時から17  
 時(土日祝を除く)です。

■広瀬浩二郎・嶺重慎 著  
**「さわっておどろく！」**  
 ——点字・点図がひらく世界——  
 岩波書店 定価：924円  
 少ない材料から多くを  
 生み出す「したたかな創  
 造力」、常識にとらわれ  
 ない「しなやかな発想  
 力」をキーワードとし  
 て、点字・点図のおもしろ  
 さを紹介する「さわる  
 文化」の入門書です。

■青弓社 定価：2,100円  
**「さわって楽しむ博物館」**  
 ユニバーサル・ミュージ  
 アムの可能性」  
 歴史学・人類学・考古  
 学の立場から、アンデス  
 世界とそれにまつわる  
 言説の創出・発展・変  
 容過程で生じた多様な  
 コンフリクトの真相に迫  
 り、その歴史的意义を論  
 じて、2009年におこなわれた阪大・民  
 博共催の国際シンポジウムの成果刊行物。

■染田秀藤・関雄二・網野徹哉 編  
**「アンデス世界」**  
 ——交渉と創造の力学——  
 世界思想社 定価：4,095円  
 ウェブサイトもご覧ください。  
 オンラインショップ  
 「World Wide Bazaar」  
 http://www.senri-f.or.jp/shop/

国立民族学博物館  
 ミュージアム・  
 ショップ  
 電話 06-6876-3112  
 FAX 06-6876-0875  
 e-mail shop@senri-f.or.jp  
 水曜日定休  
 ウェブサイトもご覧ください。  
 オンラインショップ  
 「World Wide Bazaar」  
 http://www.senri-f.or.jp/shop/

明治ビードロ(硝子)の  
 タンブラーと箸置き(複製物)  
 室町末期に、長崎に渡来したオランダ人によって製法  
 が伝えられたビードロ(硝子)。  
 江戸時代にはまだまだ貴重なもので、生産技術がひろ  
 まって一般庶民の生活で使われるようになったのは明治  
 のころになります。  
 いまミュージアム・ショップでは、明治・大正のころの  
 加飾手法をもとに、さまざまに再現した手づくり硝子  
 のタンブラーを紹介します。  
 夏の暑い時期に、涼やかなビードロで清涼感を演出し  
 てみませんか。



ビードロのタンブラー  
 (写真左から「四つ葉」「飛線(とびせん)」「渦巻き」「かきあげ」「十草」)  
 各 1,575円  
 団扇の箸置き 各 945円  
 金魚・鮎の箸置き 各 630円  
 価格はすべて税込